

最適なホームページ制作ツール

デザイナーとしてやっていくには？
WordPress ホームページ制作
デザインツールが使えるレベルじゃ足りない
イケてる、カッコいいデザインを作るためのデザインスキル
原理原則がある
集客
営業
ビジネススキル
継続依頼してもらいやすくする方法

サーバー
月550円でも借りられる (例、ロリポップ)
クライアントのホームページを配置すればその分だけ安くなる

WordPress
メリット
世界、日本シェアNo.1
上位表示されやすい googleが推奨
上場企業もWordPressでサイトを構築
カスタマイズの自由度が高い
知識があれば完全オリジナルのデザインで組むことができる

ただし、注意点として、有料テーマのデモサイトのクオリティが高くても、デザイン力がないと結局素人っぽくなってしまふ

容量の上限を実質気にする必要がないので、ブログ、オウンドメディア制作にも向いている。

サーバー使用料 月額はかからない
記事をたくさん作ることができる
SEOのために記事をストックさせていくことが多いので、「容量の上限がない」のは必須レベル

デメリット
他のサービスよりは難しい
学ぶ必要がある。
サーバーは自分で用意する必要あり

メリット
html, cssがわからなくてもシンプルなホームページが作れる

デメリット
ホームページに広告があると離脱してしましやすい
無料プランだと広告が入る

デメリット
デザイン性のある凝ったホームページは作りづらい
カスタマイズの自由度は低い

容量制限がある
ブログやオウンドメディアを作る際には向かない

HP制作する上で重要なポイント

クライアントワークする際大事になってくること
デザイン性
ホームページの顔
制作フィーをもらうのにデザイン性は大事なところ
ブランドの印象に大きく影響する
視覚情報 55%
聴覚情報 38%
言語情報 7%

カスタマイズの自由度
機能
必要な機能を選んで付けられることが重要
EC機能
動きをつけたり
動作を軽くする

容量
記事を作れる数が容量で変わる
容量制限がある=記事をたくさん作れない
なぜ容量が重要か？
オウンドメディア型にすることが多い



オウンドメディア
コンテンツをたくさん置くサイト
SEOに強くするため
ファン化するため

ベライチ
メリット
ペラー枚タイプのホームページやLPが作れる
html, cssがわからなくても作ることは可能

デメリット
テンプレートがメインになるが、やれることがテンプレートの範囲になる
カスタマイズの自由度はあまり高くない
ページ数が増えると月額料金が高くなってくる
記事をたくさん置くタイプのホームページには向いていない
無料プランだと1ページしか作れない
プランによってはフッター（ページの最下部）にベライチの表記が入る

メリット
HTML・CSSはわからない人でも簡単にシンプルなホームページやWebサイトが作れる

デメリット
カスタマイズの自由度は高くない
容量制限がある
ブログやオウンドメディアを作る際には向かない